



令和6年4月1日

## 令和6年度総務部の運営方針について

総務部長 宮本 学

令和6年3月21日付市長より示された「令和6年度市政運営の基本方針」に基づき、以下のとおり、総務部の運営方針を策定いたしました。

各管理職におかれましては、市政運営の基本方針及び本運営方針に則り、各所属職員に徹底されますようお願いいたします。

また、各課におかれましては、本方針をより具現化した取組をお願いいたします。

### 記

## 1. 令和6年度市政運営の基本方針に基づく取組について

### (1) 施政方針を踏まえた対応

- ① 令和6年度施政方針では、市制施行60周年と新庁舎への移転を迎える節目の年となり、様々な取組を通じて、市内外に向けて、市の魅力を発信する年であり、その中でも新庁舎への移転を契機として、職員一人一人が新たな執務環境に合わせて働き方の見直しを進めるところにおいては、総務部も大きく関わっており、また「安全・安心で強靱なまち」を目指していくことも含めて、市長の考えが随所に示されている。この方針を管理職員はもとより全職員が念頭に置き、日々の業務にあたること。
- ② 令和6年能登半島地震により市民の防災意識が高まっていることを受け、安心・安全で強靱なまちづくりを一層推進するため、新庁舎への移転に伴う各種計画・マニュアルの見直しや、自助力・共助力・公助力の強化につながる事業を実施すること。
- ③ デジタル技術を積極的に活用し、効果的かつ効率的に事務を執行し行政サービスの更なる充実につなげること。また、ゼロカーボンシティの実現に向け、市の行動計画に掲げる理念の下、あらゆる施策・事業において進めること。さらに、国・都の令和6年度予算措置については、各担当部課長会等を通じて万全な情報収集に努め、迅速な対応を図ること。

## (2) 国分寺市総合ビジョン等を踏まえた方針

- ① 今年度は、国分寺市総合ビジョンの最終年度であり、未来のまちの姿「魅力あふれ ひとつにつながる 文化都市国分寺」の実現に向けて、施策の進捗状況を考慮の上、各施策を実行しつつ、第2次国分寺市総合ビジョンにつながるよう取り組むこと。

本市が持続可能な自治体で在り続けるためには、充実した行政サービスの提供と堅実な財政運営を両立させる必要があり、このことを各所属の職員全員が十分に認識し、形骸化した事業等のスクラップを視野に入れ、新たな財源の獲得に向けた視点を持った上、行財政運営を「自分ごと」として捉え事務事業を執行すること。

- ② 既存の事務事業やシステムについては、常にあるべき姿を念頭に置き、再構築や執行方法の再検討を模索すること。また、再検討に当たっては、既成概念にとらわれない業務効率化の観点からも検討を行うこと。
- ③ 部内各課において、税収増や税外収入増をもたらすよう事業を工夫していくことはもちろんであるが、社会状況の変化を的確に捉えつつ、まちの魅力の発掘・発信、まちのにぎわいの創出に向けて各部各課と連携すること。

## (3) 適正な事務執行の確保に向けた方針

- ① 職員一人一人が改めて仕事の目的とアウトカムを意識し、業務フローに沿って的確に事務事業を執行すること。また、事務を進めるための目的の基本となる財務会計、文書事務等についても確実にマスターし、根拠法令等を確認・理解した上で、重層的なチェック体制のもと適正な事務を行うこと。
- ② 職員一人一人が常に市民目線に立ち、市民に寄り添う現場主義を徹底し、諸課題を把握し、関係部署と共有を図り、課題解決に向けて機を逸することなくスピード感を持って正確に事務執行をするとともに、市民への説明責任を十分に果たしていくこと。
- ③ 風通しの良い職場づくりに努め、チームとして仕事を進めること。
- ④ 超過勤務については、所属長だけではなく、所属部長としても、これまで以上に的確な実態把握を行うようにし、その上で、お互いに協力して生産性を高めるためのマネジメントを実践し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方改革を進めていくこと。
- ⑤ 常に社会情勢の変化や地域の課題等に関し、日ごろからアンテナを張り情報収集に努め、把握した情報は迅速に共有し、必要に応じて課題解決に向けて対応に取り組むこと。また、部内の情報共有・連携、部を越えた情報共有・連携を徹底すること。
- ⑥ 新庁舎への移転や公共マネジメントを考慮し、二重投資にならないよう、計画的・効率的な予算執行をすること。
- ⑦ 令和6年度当初予算に計上した事業に早期着手し、確実に実行できるよう、適時適切に進行管理を行うこと。

#### (4) 職員の人材育成に向けた方針

- ① 「国分寺市人材育成基本方針（第3期）」及び「人材育成実施計画」を踏まえた職員の育成・指導を行うこと。また、「ハラスメントの防止等に関する指針」を周知徹底し、良好な職場環境を維持すること。誠実にそして丁寧に職員とかかわり、職員の声にしっかり耳を傾けるとともに明確な指導・指示を心掛け、各職員の能力が最大限に発揮できるようマネジメントを徹底すること。
- ② 少子高齢化の進展、市民の価値観の多様化などの社会環境の変化に柔軟に対応し、持続可能な市政運営を行うため、一歩先を見据えて自律的に行動できる職員の育成を行うこと。また、行政のデジタル化の推進に向け、職員一人一人がデジタル技術を駆使することができるよう、知識及び能力の向上に取り組むこと。
- ③ 公務の内外を問わず、常に国分寺市職員としての自覚と責任を持って行動すること。
- ④ 「国分寺市民」の一人として、積極的に地域づくりに関わる場に参加し、市民と共にまちづくりを進めることができる職員の育成を行うこと。

## 2. 令和6年度重要課題について

### (1) 重要課題に取り組む基本的姿勢

- ① 人材育成は行政運営の要であることから、正規職員、非正規職員を問わず、全庁にわたる職員の状況を日常的に把握し、必要な対応を漏れなく速やかに行うこと。
- ② 人事管理、庁舎管理、契約等行政管理においては、公平公正、正確、透明の視点を徹底すること。
- ③ 新庁舎の移転に向けての事業に関しては、徹底した進行管理と必要な精査と確認を行いながら、確実に進めること。
- ④ 市税は市財政の根幹であることから、市民に寄り添った丁寧な説明及び正確な賦課及び様々な手段を用いた効果的な徴収に努めること。
- ⑤ 安全・安心で強靱なまちづくりの一層の推進のため、防災及び防犯における自助力、共助力の向上を意識した施策・事業を推し進めること。

### (2) 目標達成に向けて

- ① 常に、「報告」「連絡」「相談」を徹底し、スピード感を持って対応・解決を図ること。
- ② スケジュール管理を徹底し、定期的に事業の進行管理を行うこと。
- ③ 相手の立場に立った発言や行動を常に意識し、チームワーク良く仕事を進めること。
- ④ 職員一人一人が常に公平公正で誠実な対応を意識し行動すること。
- ⑤ 事務の効率化や推進など、新たな視点での提案が行いやすい雰囲気づくりを行うこと。

(3) 具体的な重要課題は別紙「組織目標展開整理表」のとおり。また、各課、各係においては、各事業の進行管理を徹底し、四半期を目安としてその進捗状況を評価すること。